

保護設定について



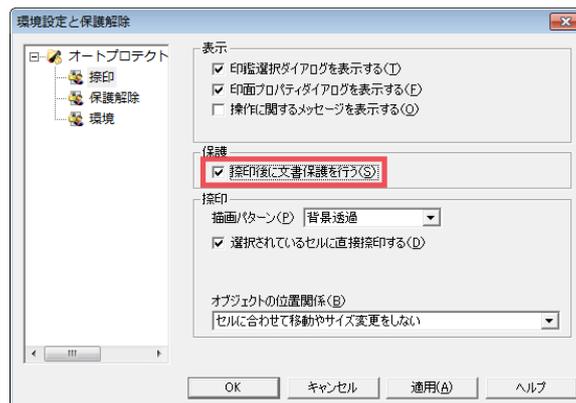
※ツールがどちらのように表示されるかご確認ください。

パソコン決裁での保護は、捺印後にシート全体を自動的に保護するものと、捺印とは独立して、セルの指定範囲またはシート全体を保護するものの2つがあります。

(1. では①のスパナマークまたは②の[環境設定 保護解除]からの保護設定、2. では①の鍵のマーク、または②の[保護]からの保護設定の説明がされています。)

1. 捺印後にシート全体を自動的に保護する

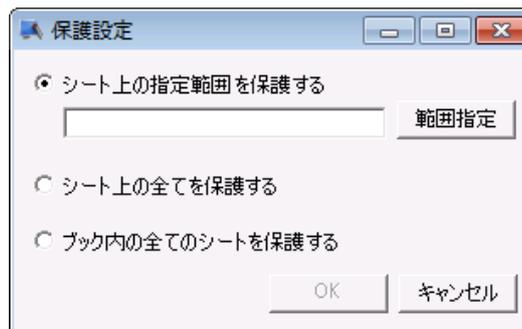
スパナマーク、または[環境設定]ボタンをクリックし、[環境設定と保護解除]画面を開きます



「捺印後に文書保護を行う」にチェックを入れて捺印すると、以降の捺印後に、自動的にシート全体（セル・すべての印影や図形）保護されます。

2. 捺印とは独立して、セルの指定範囲またはシート全体を保護する

「ワークシートを保護する」ボタンをクリックし、[保護設定]画面を開きます



- 「シート上の指定範囲を保護する」

「範囲指定」ボタンをクリックして保護したいセル範囲を指定できます。

(すでに保護されていたセル範囲に加え) ここで指定したセル範囲が保護されます。

また、印影や図形などは、指定したセル範囲に関わらずシート上のすべて印影や図形が保護されます。

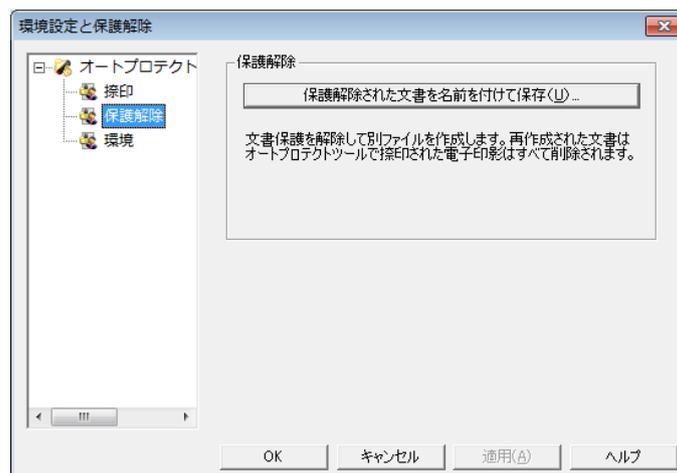
- シート上の全てを保護する

- ブック内の全てのシートを保護する 全てのシートで、シート全体が保護されます。

パソコン決裁からの保護設定後も、パソコン決裁からの追加捺印が可能です。

保護設定の解除について

[環境設定と保護解除]画面の[保護解除]から、すべての印影を削除してシート保護を解除することができます。



[保護解除された文書を名前を付けて保存]から保護がかかった状態のシートを保存後、保護がかかっていない状態のシートが表示され、編集が可能になります。

[ご注意ください]

- ・ 印影を残したままで保護を解除することはできません。
- ・ Excel の「シート保護を解除」機能で、パソコン決裁のシート保護を解除することはできません。
- ・ Word では指定範囲を保護することはできません。シート全体が保護されます。